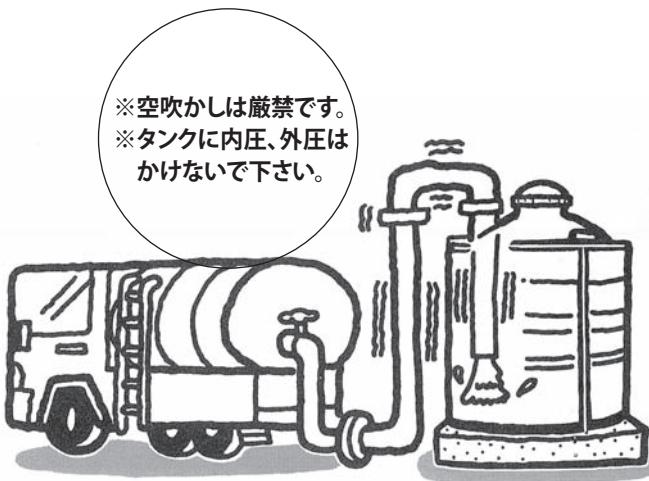


# 3 ローリー車からの充填 火気厳禁

## ■ローリー車からの充填

エアー抜きは必ず開放にして、水封等の密閉状態にしないで下さい。

尚、塩酸等のように発生したガスがそのまま大気中に出でる場合は、ガス洗浄装置等を取付けて処理して下さい。

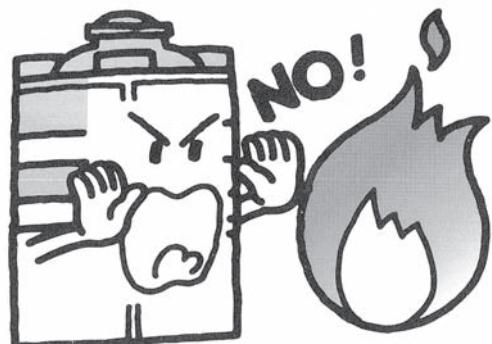


ローリー内の残液が少なくなると、空気が混入し始めローリーホースが振動してきますので速やかにローリーの元バルブを一旦締めて、コンプレッサーを停止し、その後元バルブを少しづつ開放にして残圧で残りの液を送るようにして下さい。

コンプレッサーの空運転を続けますと急激な圧力でタンクが変形し、天板が破壊することがあります。

## ■火気厳禁

タンクはポリエチレン製ですので火気を近づけないで下さい。



補強枠に溶接加工をする場合はタンク本体から外してから行って下さい。

# 4 仕様条件変更 タンクの保守点検項目

## 仕様条件を変更する場合はご連絡を

使用条件(薬品種類、濃度、比重、液温)を変更する場合はあらかじめ弊社にご相談下さい。耐薬品性、補強枠等の安全性確認を当社が致します。

## ■タンクの保守点検

タンク本体及び配管、取付け部品の点検を実施して下さい。

異常が発見された時は至急弊社にご連絡下さい。



## 保守点検作業の注意事項

### ■転落のご注意

- タンク天板に乗る時には、命綱を付け墜落を防止する措置をして下さい。

### ■酸欠のご注意

- タンクの中に入る場合には、タンク内を充分に水洗して下さい。そしてタンク内の換気を行い酸欠計を使って安全を確認して下さい。

### ■二人作業の実施

- タンクの天板に乗るなどの高所作業時及びタンクの中にいる時は必ず監視人を配置して下さい。

